

科目ナンバリング		U-LAS05 20014 LJ39							
授業科目名 <英訳>	人文地理学各論V (経済地理) Topics in Human Geography V(Economic Geography)				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 久木元 美琴			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義 (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	木1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>経済地理学は、グローバル経済や資本主義といった経済体制が形作る地域の構造や、空間に生じる地域的諸問題のメカニズムを解明することを研究してきた。この授業では、経済活動や人口の地理的偏在とそれによる地域問題はどのように展開してきたのか、国や地方自治体による地域政策にはどのようなものがあり、グローバル化の中でいかなる限界や新たな課題に直面しているのか、といった問いを出発点として、経済活動の地理的分布に関する立地論や地域構造に関する視点や理論を踏まえたうえで、経済発展に伴う地域問題やそれに対する地域政策の変遷、グローバル化する経済社会の中における資本や労働力に関する地理的事象を解説する。</p>									
【到達目標】									
<p>経済地理学の視点として、地域構造、産業集積と分散、経済発展と産業構造の転換にともなう資本と労働力の移動、福祉・公共サービスの地理学の視点と近年の動向について説明できるようになる。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>時事動向や受講生の関心に応じて変更する可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 概要説明 2) 人口と経済成長 3) 経済成長と人口移動 4) 都市の経済的基盤：都市化と都市発展 5) 都市における経済活動の分布 6) 工業化と産業立地 7) 産業集積の理論 8) 地域間経済格差 9) 国土・地域政策の変遷 10) 福祉国家と地域 11) サービス業の地理的特徴 12) 福祉・ケアサービスと労働力移動 13) 多様な経済論 14) 総括 15) フィードバック (フィードバック期間中に行う) 									
【履修要件】									
特になし									
----- 人文地理学各論V (経済地理) (2)へ続く -----									

人文地理学各論V（経済地理）(2)

【成績評価の方法・観点】

平常点（内容のまとめりごとに授業内で行われる小課題）40%
期末試験60%

【教科書】

授業中に指示する

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

講義でとりあげた事柄やキーワードについて、他にどのような事例があるのか調べること、関連する図書や新聞記事を探して読むこと。

【その他（オフィスアワー等）】

収容可能人数を超過した場合、履修制限を行う。特に履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。
授業の進め方や評価、持参するものについて初回授業で詳しく説明するので、履修希望者は必ず初回授業に出席すること。

生成AIの使用制限: 課題や評価に関わる成果物のいかなる部分も、生成AIによって生成、作成、製作してはなりません。提出が求められるすべての課題は学生自身が作成したものでなければならず、生成AIを使用して評価に使用される課題や成果物を作成することは厳格に禁止されています。ただし、自らの学習を補助するために、概念の探究を行うこと、説明を受けること、内容を翻訳すること、については、生成AIを使用することができます。使用する場合には、「京都大学の教育・学修におけるAIの利用について」のガイドラインを遵守し、誤情報やバイアス等のリスクが含まれることを念頭におき、根拠資料・一次情報の確認をすること。

【主要授業科目（学部・学科名）】

総合人間学部